

ツクタウンの隣についても、地元が今一部で借地を返すということで、秋葉神社の遊具をどうするかと検討しています。

意見

確かに論地町の公園は小さなところばかりなのでもう少し統合された公園が必要ですが、財源の無い中で統合しろという話は難しいと思いますが、少なくともこういう風にしたいとか、行政として全体的な話を提出していただければと思います。

Q

公園の利用率と言われていますが、本来公園とは場所ではなく中身が大事であって、どういう施設が存在しているのが本当は大事なのではないか。中身をどうするんだということを市として考えるべきではないか。

A

市として理想的な公園作りというのは、計画の段階から地域の皆さまとワークショップを重ね、整備する時には皆さんと行政と一緒に、植樹のようなランドワークを行い、その後の維持管理をまた地域と行政でやっていくというのが一番望ましい姿なのではないかと捉えています。

Q

公園の統廃合という話がありました。論地町の広場は数的にも面積的にもかなりあり、いろんな状況があります。公園の統合の基準を教えてください。ハーモニックタウン

には広場が2つありますが、団地で坂になっていてため小さい子どもが遊べない部分もあります。全体的な公園もしくは整備を一度正式に検討していただきたい。

A

統廃合については、今、あり方や利用率をこれから調査していく段階ですので、ただ利用者があるから続ける・続けなさいといった基準的なものはまだありません。ハーモニックタウンにつきましては、当初は違う位置に公園がありましたが、なるべく1箇所に集めたいということで今の位置に作ってもらいました。今後の計画については、町内会長さんなり誰か音頭を取っていただき、行政も入って、地域の方々とここをこうしていきたいと話合っていきたいと思っています。

Q

公園とは一体なんだろうかとこのところから考えると、10年先15年先、高齢者はどんどん増えていきます。公園というのは、子どもの遊び場ではないのか、お年寄りの憩いの場であるのか、色々な考え方があられると思います。公園の姿を描きながら進めていただけるとありがたい。

A

元々公園は、小さい子どもさんを対象に作った経緯がありますが、最近人口が減り、高齢化が進んでいます。そうになると、今ある公園でも地

域によってあり方というのがかなり変わってきます。新たな再配置を含めたあり方も、考えなければなりませんので、今後いろんな場面で議論をさせていただきたいと思っています。

刈谷豊田総合病院高浜分院の現状と今後の見通しについて

本郷町内会から説明・質問

- ① 外来診療科目の現状と今後拡大する見通しについて。
- ② 補助金予測に対する実績と2010年以降の見通しについて。
- ③ 高齢化が進んでいくと思いますが、介護施設の入居を希望した場合の待ち期間、新規の開設予定を教えてください。

保健福祉グループ説明・回答

- ① 刈谷豊田総合病院高浜分院は、内科、外科、整形外科および眼科の4診療科を標榜しております。外来診療の今後の見通しについては、常勤医師が4名しかおりませんが、今後、医師が充足された段階で豊田会へ要望をしております。
- ② 昨年度は、病院の移譲前に豊田会が算出した計画額に比べ、およそ1億8千万円増の6億7千7百万円を補助しております。補助金が増えた要因として、高浜市立病院が医師不足の影響から、外来・入院共に患者数が大幅に減少しておりますので、豊田会といえども一度減少してしまっただけで戻るとは時間がかかるといえます。このほかにも、改修工事の順延や4階病棟が開けなかったことなど、病院機能を100%発揮できなかったことが挙げられます。今年度以降の補助金額は、運営費補助金は収支改善により、減少してまいります。施設改修補助金が平成24年度から発生してまいります。21年度から23年度までは病院の赤字補填期間となり、年々収支が改善されることにより補助金額は減少してまいります。一方で、24年度からは施設改修の開始により、およそ3億円程度の補助金で推移すると考えられます。高浜市立病院が深刻な医師不足に陥っているのは、7億円近い赤字が発生しておりますので、高浜市が病院を維持していくための必要な経費は、豊田会へ民間移譲した後、大分軽減されてきたといえます。

移しています。また、入院の関係については、ベッドが104床ありますが、現在85〜90名程度の入院患者さんがいらっしゃり、平成22年度3月までには104床全てが満床になる見込みです。

Q

今後の見通しも出されているが、医療機器を入れてほしいとかで、一気に6億7億に上がる可能性は。

A

豊田会の考えといたしましては、本院と分院では機能分担を考えております。手術に必要な最新の医療機器などについては本院の方で順次買い替えなどを行っていますので、高浜市として本院の救急の機器を購入する補助金として年間3千万円補助をしております。ただし、分院についても、現状の医療機器で経年劣化したものにつきましては、随時買い替えをしてまいります。

Q

今後の見通しとして、夜間診療や救急診療といったものを要望する場合、それはできそうですか。

A

高浜市長が医療法人豊田会は運営委員として運営委員会に参画しております。市民の皆さまからのご要望は豊田会の理事会や運営委員会の席で要望させていただきます。現在常勤医師が4人しかいませんので、今はとにかく医師を充足していた

Q

高浜分院の利用状況はどのような推移になっていきますか。

A

外来の利用状況については、4診療科の診察を行っています。1日あたりの患者さんの数が100〜110人程度で推